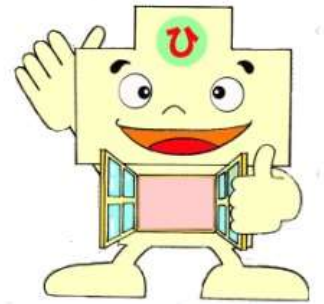


地域力を活用した通学路の 安全を確保する取組



コミュニティスクール平生小
イメージキャラクター「スックルくん」



平生町立平生小学校



平生町内の交通の現状

- 狭い道でスピードを出している車が多い。
- 歩道が狭く、舗装の状況が良くない箇所がある。
- 車の停止線や白線が消えている箇所がある。
- 校区内に川が多く、大雨の時、川の氾濫が心配。等

取組のねらい

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり、危険予測トレーニング（KYT）等を行う活動を行うことにより、**地域ぐるみで学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育む**ことを目的として実施する。



第1回実践委員会の開催【6月】

町内幼保小中関係者、学校運営協議会委員、ひらお子ども見守り隊、柳井警察署・県教委・町教委関係者、学校安全アドバイザー 20名



取組の方向性や実施内容、中核教員の役割の確認を決めていきました。



安全教育

- ◇安全のきまりや安全な行動の仕方の理解
- ◇危険を予測し回避する能力、判断力(KYTの実践)
- ◇他人や社会の安全に役立つ資質や能力
- ◇安全な行動の持続力

安全管理

- ◇心身の健康状態把握
- ◇安全意識把握・分析
- ◇緊急・救急体制
- ◇校舎内外の安全点検と事後措置
- ◇通学路の点検・整備

組織活動

- ・学校運営協議会、学校保健安全委員会
- ・保護者、地域、警察、関係機関との連携
- ・ひらお子ども見守り隊、カンガルー応援隊(家庭教育支援チーム)との連携

教職員研修

「学校安全セーフティライフセミナー」等の実施



教職員の交通安全研修【7月】

出前講座「学校安全セーフティライフセミナー」



学校安全の目標

- 事件・事故・災害による被害を未然に防ぎ、子どもたちのかけがえのない**命を守る**こと
- 子どもたちが自らの命を自ら守るために**主体的に行動できる力を育成**すること
- 自分の安全を確保した上で、**周囲の人や社会の安全に貢献できる力を育成**すること

「県内の交通事故の現状と特徴」や「子どもの行動特性」について、「小学生の交通事故における様々なデータやクイズ」を基に理解していきました。



「安全教育・安全管理・組織活動」充実のための視点

【視点1】

子どもが主体的に行動する態度の育成

【視点2】

家庭・地域・関係機関との連携・協働の強化

【視点3】

P D C A サイクルの確立による学校安全の質の向上

自分の身を守るために必要な力

危険予測能力

危険回避能力を身に付けるために

危険予測学習(KYT)を
全校体制で取り組むことを確認しました。

気づき

考え

行動できる 子に！





急カーブ！
車が膨らむと…

では、どこを歩こう？



保護者からの情報提供【7月】

平生小学校通学路の危険箇所 地区名 (磯崎南点) ①

保護者名 ()

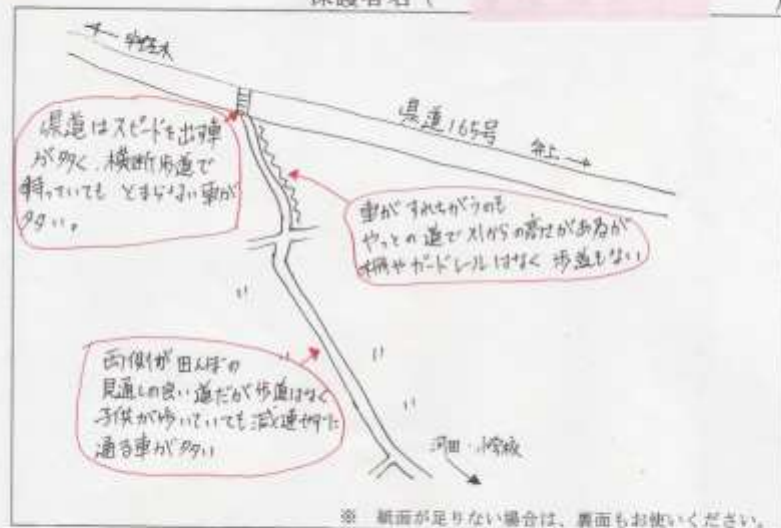


【提出先】学級担任(連絡先№ 0820-56-2015)

【提出締切】令和3年7月19日(月)

平生小学校通学路の危険箇所 地区名 (喜多) ④

保護者名 ()



【提出先】学級担任(連絡先№ 0820-56-2015)

【提出締切】令和3年7月19日(月)



第2回実践委員会（通学路危険箇所合同点検）【8月】



通学路に多くの川があるので、大雨の日の登下校についても状況を知る必要がある。



道幅が狭く、カーブミラーが付いていても歩行者に気付きにくい。



第2回実践委員会(通学路危険箇所合同点検)【8月】



保護者から寄せられた「危険箇所の情報」を5グループに分かれて現地調査をした後、具体的にどのような危険があるのか説明し、全体で情報を共有しました。



第2回実践委員会(通学路危険箇所合同点検)【8月】



情報共有の後、県学校アドバイザーや警察署の方たちから具体的な対策(環境対策・人的対策)について、助言をいただきました。



第2回実践委員会(通学路危険箇所合同点検)【8月】

学校アドバイザーや警察からの助言

- 子どもの意見を踏まえるなど、**子どもの立場に立った点検**をするとよい。視点の高さの違い、点検時との天候の違い等により、大人の視点では気付けない危険もある（雨天時に水たまりを避けて道路を歩いている等）。
- 通学路の改善要望には、信号機や横断歩道の設置、歩道の拡張等の大きな改善を望むものもあるが、規制や財政状況から対応が難しい場合がある。ただ、その場合も、単に「できない」との回答ではなく、**指導線の設置、学童横断看板、ゼブラゾーンの設置、カーブミラーの設置、通学路の経路変更の検討**等、他の対策等により状況を改善できないか、関係者が知恵を出し合って、あらゆる面から検討するとよい。
- 予算、基準、前例等との兼ね合いもあるが、時として、**必要に応じた迅速・柔軟な対応**が望まれる。
- **保護者が参加しやすい安全対策**（スマートホン等の活用を含む）を推進できるとよい。

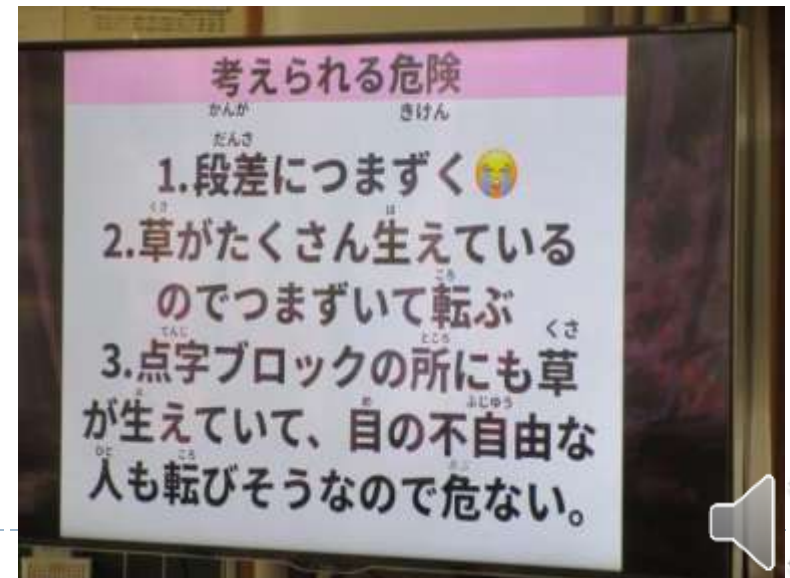


全教職員・全校児童による通学路一斉点検【9月】



危険予測学習(KYT)

| 段階 | 活動目標 |
|--------|--------------|
| 1 現状把握 | どんな危険が潜んでいるか |
| 2 本質追究 | これが、危険のポイントだ |
| 3 対策樹立 | あなたなら、どうする |
| 4 目標設定 | 私たちは、こうする |



5年総合「平生小の危険予測能力を高めよう～KYT資料をつくろう～」 「全校集会で発表しよう」【10～12月】



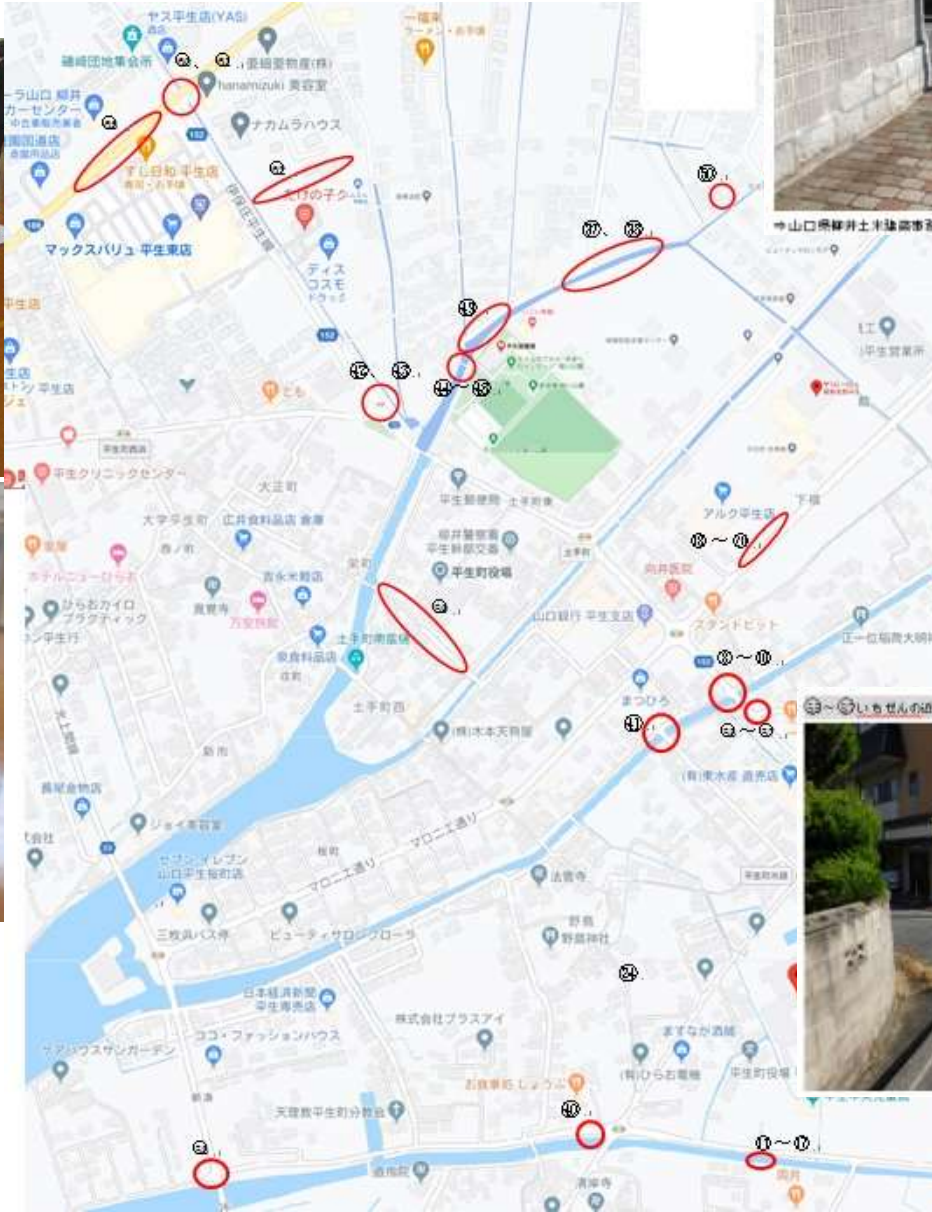
◎ここは、どこかな？

◎どこが危ないかな？(危険予測)

◎どうすれば安全になるかな？(危険回避)



6年総合「行政相談出前講座」 「安全マップ作成」【11～12月】



「学校運営協議会・感謝の会」における情報共有【1・2月】



地域全体の
**安心・安全
の向上**
に向けて！

地域と
ともにある
学校づくり
に向けて！



成果

(1) 児童・教職員の安全意識の向上

(2) 児童の地域に向けた情報発信力の向上

(3) 保護者・地域の安全意識の向上

(4) 保護者・地域・関係機関と連携した学校安全の取組強化

今後に向けて



(1) 保護者・地域も巻き込んだKYT学習の実施

(2) 継続的な学校・地域連携カリキュラムの作成・定着・発展

